

島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報

第 12 号

2018 年度版

島根大学・寧夏大学国際共同研究所



## 目 次

はじめに .....	1
I 学術研究の交流	
I - 1 第 16 回日中国際学術セミナーの開催 .....	3
I - 2 日中農業・農村発展研究会の開催 .....	12
II 日中学術共同調査と共同研究等の成果	
II - 1 第 16 回セミナー後のエクスカージョンの実施 .....	15
II - 2 第二回アジア六次産業化フォーラムに係る島根県内事例視察の実施 .....	16
II - 3 寧夏平羅県楽牧高仁草畜林基地の視察 .....	17
II - 4 研究費の獲得 .....	18
II - 5 著書・論文等 .....	19
III 2018 年度研究所活動の記録	
III - 1 研究交流活動	
III - 1 - 1 さくらサイエンスプランによる寧夏大学学生の受入 .....	25
III - 1 - 2 島根大学学生中国研修団の受入 .....	27
III - 1 - 3 研究所運営に関する協議等 .....	29
III - 2 2018 年度その他の交流記録	
III - 2 - 1 寧夏大学創立 60 周年記念事業に係る服部泰直学長の寧夏訪問 .....	30
III - 2 - 1 - 1 寧夏大学何建国校長との面会 .....	30
III - 2 - 1 - 2 寧夏医科大学の訪問 .....	31
III - 2 - 1 - 3 寧夏大学創立 60 周年記念事業への参加 .....	32
III - 2 - 1 - 4 島根大学懇談会の開催 .....	33
III - 2 - 1 - 5 本研究所関連教員との懇談 .....	34
III - 2 - 2 島根県・寧夏自治区友好交流協定締結 25 周年記念事業への参加 .....	35
III - 2 - 2 - 1 島根大学総合博物館における写真展の開催 .....	35
III - 2 - 2 - 2 島根県訪問団の寧夏訪問への同行 .....	36
III - 2 - 2 - 3 日中植林・植樹国際連携事業交流団の来訪 .....	38
III - 2 - 2 - 4 友好交流 25 周年記念写真展への協力 .....	40
III - 2 - 2 - 5 銀川ビフォー&アフター写真展への協力 .....	41
III - 2 - 3 島根県内における関連機関との情報交換・連携の強化 .....	42
III - 2 - 4 CLAIR 北京事務所による JET 経験者との意見交換会への参加 .....	43

Ⅲ - 3	留学生招致に係る活動	
Ⅲ - 3 - 1	留学説明会.....	45
Ⅲ - 3 - 1 - 1	寧夏大学農学院における島根大学留学説明会の開催.....	45
Ⅲ - 3 - 1 - 2	「H30 年度日本の大学による合同留学説明会」への参加.....	46
Ⅲ - 3 - 1 - 3	「H30 年度日本の大学による合同留学説明会 in 寧夏」の開催	47
Ⅲ - 3 - 2	留学支援.....	49
Ⅲ - 4	資料・情報の提供	
Ⅲ - 4 - 1	翻訳, 資料収集と提供.....	49
Ⅲ - 4 - 2	研究所ニュースレター.....	49
Ⅲ - 5	その他の活動等	
Ⅲ - 5 - 1	寧夏大学外国語学院に対する支援.....	49
Ⅲ - 5 - 2	研究所来訪実績.....	49
IV	研究所の組織.....	51
	2018 年度の運営体制	
	兼任研究員名簿	
	客員研究員名簿	
V	資料その他	
V - 1	新聞記事等.....	53
V - 2	国際共同研究所ホームページ・トピックス.....	54
V - 3	研究所ニュースレター.....	56
V - 4	事業計画.....	58

## はじめに

島根大学・寧夏大学国際共同研究所（以下、研究所）は、中国西北部の寧夏回族自治区の区都・銀川市にある寧夏大学のキャンパス内に設置されています。寧夏大学は自治区を代表する総合大学で、島根大学とは1989年から継続的に研究交流を行っています。本研究所は2004年にJICA（当時のJBIC）のODA事業による資金提供により建設され、キャンパス内に独立した研究棟を有し、日本人常駐スタッフと、中国側スタッフにより島根大学と寧夏大学の共同で運営されています。

本研究所はたんなる島根大学の「在中国サテライトオフィス」ではなく、学際的共同の推進と共同研究を介した人材育成をミッションとし、わが国で唯一、中国西北部に立地するサテライト研究所です。また、2009年には「西部学術ネットワーク」を確立し、中国西北部と北京の有力大学・公設研究所の研究者と学術コンソーシアムを形成し、研究分野の拡大を行っています。こうした成果に基づき、2017年3月には、2008年から2016年まで研究所が推進した日中共同研究から選抜し、学術図書『中国農村における持続可能な地域づくりー中国西部学術ネットワークからの報告ー』にまとめ出版しました。同書には、社会科学分野、自然科学分野および複合領域について延べ40名の著者による計15編の学術論文が収められています。寧夏大学と学術交流を開始した当初は研究単位と研究対象は限られたものでしたが、現在では学際的なレベルへと発展しています。

これに加えて、近年では、島根大学の現地駐在研究員による留学説明会や学生との交流会、他大学や関連機関と合同での日本への留学促進のための説明会といった活動を強化し、中国内陸部のみならず中国国内から日本への留学生を獲得するための取り組みを行っています。また、研究所内には島根大学、島根県、松江市、（非特）日本寧夏友好協会などから寄贈された約3000冊の日本語図書・雑誌を開架した図書室を設け、寧夏大学生への日本語教育の一助と日本の紹介に努めています。

2018年度は社会科学中心で展開してきた国際共同研究から、自然科学も含んださらに幅広いものへと展開しつつあります。本年報は、こうした成果について発信するため、島根大学・寧夏大学国際共同研究所が2018年度に行ってきた各種事業をとりまとめたものです。

本研究所は、中国西部学術ネットワークによる国際共同研究の発展、他大学や関連機関

と合同で行う留学説明会の開催支援など、学内に限らず学外の方々への協力や企画支援も行いながら、中国西北部における学術・教育を高めるための活動を、一層推し進めたいと考えております。関心のある方のご連絡・ご参加を心より歓迎いたします。今後とも、皆様のますますのご支援をお願い申し上げます。

2019年3月

島根大学・寧夏大学国際共同研究所  
日本側副所長 関 耕平

# I 学術研究の交流

## I - 1 第 16 回日中国際学術セミナーの開催

2018 年 11 月 17 日～19 日、第 16 回日中国際学術セミナーを島根大学で開催した。本セミナーは、島根大学と寧夏大学の共催により、島根大学・寧夏大学国際共同研究所が実施主体になり、毎年日中交互で開催しているものである。

今回は、全体テーマを『エコロジカルな地域社会の形成へ向けた日中国際共同研究の可能性、～循環経済，再生可能エネルギー，低炭素社会，地域資源の高次利用～』と題して、現代の日本，中国が直面している急激な経済成長が一段落し，大きく変質した社会の今後のあり方，また環境に配慮した社会のあり方に関して，技術面での対応，社会経済面からの分析・提言などを中心に報告がなされた。

セミナーでは，秋重理事による開会挨拶に次いで，許 寧夏大学副校長，朱 西北農林科技大学教授，および出口副学長の挨拶があり，その後報告会が行われた。基調報告では寧夏大学李進教授による「寧夏農村における廃棄資源の効率的な利用方法」，また島根大学上園昌武教授による「エネルギー自立地域づくりの意義と可能性」が報告された。とくに上園教授の報告には大変強い関心が寄せられた。その後 32 の個別報告があり，その内 11 報告は，「さくらサイエンス」プログラムによる研修グループによるものであった。

海外からは，寧夏大学から許副校長他 7 名，さくらサイエンス研修団（寧夏大学）の李教授他 10 名，西北農林科技大学から朱教授他 9 名など，30 名近くの参加があった。本学及び山口大学等他の国内大学からも報告が行われ，合わせて 50 名を超える参加者によって，大変熱心に報告と質疑応答が行われた。参加者全体の関心は，再生可能エネルギーの利用と資源循環による環境負荷の軽減，及びそれを社会全体でどのように取り組んでいくかという点であった。

本セミナーは，寧夏大学に設置されている島根大学・寧夏大学国際共同研究所が 2006 年に研究所内で小規模に研究会を始めたことに遡る。当時は「寧夏社会経済の持続可能な発展」というテーマで当時取り組んでいた共同研究メンバー 9 名による発表と討論会であった。これが参加大学・地域を拡大し，現在に至っている。

また今回は，「さくらサイエンス」プログラム（総合理工学部 水野助教の受入により，11 月 11 日から 10 日間，島根大学で太陽光発電について研修を実施）で来日した寧夏大学の大学院生の研修報告の場も兼ねたことで，大学院生にとって研鑽の機会となった。

本セミナーを通じて、多くの成果が得られ、参加者相互の交流も一層深まり、今後の国際共同研究の発展につながる機会を提供することができた。

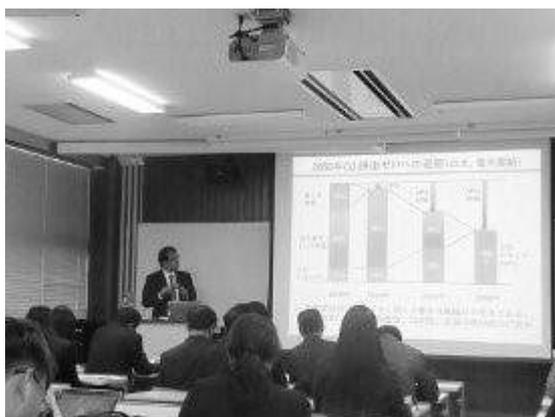
○写真



秋重理事によるあいさつ



会場の様子



上園教授による基調講演



李進教授による基調講演



レセプションにて



レセプションでの記念撮影

## 第16回日中国際学術セミナープログラム

【11月17日（土）】

### 1. 開会式および基調講演

会場：島根大学生物資源科学部3号館202講義室（司会：一戸俊義）

10:00-10:10 開会と歓迎挨拶（島根大学学術担当理事 秋重幸邦副学長：通訳 李 婉）

10:10-10:20 来賓挨拶（寧夏大学副校長 許 興教授：通訳 蔵 志勇）

10:20-10:30 来賓挨拶（西北農林科技大学 朱 玉春教授：通訳 李婉）

10:30-10:40 日中国際学術セミナーの紹介

（島根大学グローバル推進担当 出口 顕副学長：通訳 李 婉）

10:40-11:20 中国側基調講演（寧夏大学太陽光発電重点実験室主任 李 進教授：通訳 王 酩）

11:20-12:00 日本側基調講演（島根大学法文学部 上園昌武教授：通訳 蘇 雪雯）

※基調講演終了後、14時まで昼食休憩

### 2. 個別報告

第1会場：島根大学生物資源科学部3号館202講義室（司会：関 耕平）

講演時刻	座長	演者	通訳
14:00-14:30	関 耕平	井上 憲一	王 梦娜
14:30-15:00		田中 哲也	王 斌宇
15:00-15:30	蔵 志勇	魏 鳳	王 酩
15:30-16:00	伊藤勝久	蔵 志勇	自身
16:00-16:15	休憩（15分）		
16:15-16:45	伊藤勝久	章 立	自身
16:45-17:15		鄭 路闊	自身

第2会場：島根大学生物資源科学部3号館201講義室（司会：一戸俊義）

講演時刻	座長	演者	備考
14:00-14:15	水野 斎	李 海波	10分発表・5分質疑応答
14:15-14:30		楊 珮珮	10分発表・5分質疑応答
14:30-14:40	李 海波	郜 鉄	7分発表・3分質疑応答
14:40-14:50		岳 智帥	7分発表・3分質疑応答
14:50-15:00		杜 英傑	7分発表・3分質疑応答
15:00-15:10		孟 媛	7分発表・3分質疑応答
15:10-15:20		李 海波先生の総評（4名分）	

15:20-15:35	休憩 (15分)		
15:35-15:45	楊 珮珮	李 岩	7分発表・3分質疑応答
15:45-15:55		王 茹	7分発表・3分質疑応答
15:55-16:05		高 昂	7分発表・3分質疑応答
16:05-16:15		蒙 鏡蓉	7分発表・3分質疑応答
16:15-16:25	楊 珮珮先生の総評 (4名分)		
16:25-16:40	楊 珮珮	水野 斎	10分発表・5分質疑応答
16:40-16:50	李 進先生の全体講評		

※全ての講演等を英語で行う

### 3. レセプション

18:00-19:30 (生協第2食堂1F)

司 会：一戸俊義, 通訳：李 婉 他4名 (王 酩・蘇 雪雯・王 梦娜・鄭 路闊)

挨拶：島根大学元副学長(島大・寧大国際共同研究所顧問) 保母武彦・寧夏大学  
許興副校長

乾 杯：保母 研究所顧問

懇談中企画：さくらサイエンス参加学生の感想

総理工学部水野 斎先生からの講評 他

閉会挨拶：伊藤勝久 共同研究所所長

## 【11月18日(日)】

### 1. 個別報告およびセミナー総括

第1会場：島根大学生物資源科学部3号館202講義室 (司会：伊藤勝久)

講演時刻	座長	演者	通訳
10:00-10:30	伊藤 勝久	鄭 曉婷	李 阿敏
10:30-11:00		王 鋒	王 酩
11:00-11:30	谷口 憲治	冀 昊	李 阿敏
11:30-12:00		胡 華平	王 酩
12:00-13:30	昼食(仕出し弁当)・休憩		
13:30-14:00	伊藤 勝久	徐 家鵬	付 雪峰
14:00-14:30	李 進	阿部 新	章 立
14:30-15:00		胡 華平	李 阿敏
15:00-15:30	王 鋒	梁 向明	曾 麗
15:30-15:40	休憩・セミナー総括の準備		
15:40-16:00	第16回セミナーの総括 司会 一戸俊義: 通訳 李 婉・許 坤		

第2会場：島根大学生物資源科学部3号館201講義室（司会：一戸俊義）

講演時刻	座長	演者	通訳
10:00-10:30	一戸俊義	邵 礫群	付 雪峰
10:30-11:00		朱 玉春	付 雪峰
11:00-11:30	閻 振宇	加地紀之	許 坤
11:30-12:00		一戸俊義	許 坤
12:00-13:30	昼食(仕出し弁当)・休憩		
13:30-13:45	一戸俊義	閻 振宇	配置せず
13:45-14:15	閻 振宇	谷口憲治	李 婉
14:15-14:45	一戸俊義	趙 殷鈺	許 坤

2. 閉会式

16:00-16:10 閉会の挨拶（一戸俊義：通訳 李 婉）

※終了後、島根大学・寧夏大学国際共同研究所運営会議

○講演タイトル

11月17日（土）【第一会場：島根大学生物資源科学部3号館202講義室】

10:40-11:20

中国側基調講演：寧夏農村における廃棄資源の効率的な利用方法に関する研究

○李 進（寧夏大学太陽光発電材料重点実験室）

11:20-12:00

日本側基調講演：エネルギー自立地域づくりの意義と可能性

○上園昌武（島根大学法文学部）

一般講演

14:00-14:30

集落営農法人の事業選択

○井上憲一（島根大学学術研究院農生命科学系）

14:30-15:00

「新しい産業集積に関する議論」から見た Ruby City MATSUE プロジェクト  
～松江市の IT 産業振興施策の展開がもたらす新しい産業集積のかたち～

○田中哲也（島根大学人文社会科学研究科）

15:00–15:30

The comprehensive comparative advantage analysis of foreign agricultural investment of the five northwestern provinces of China under the framework of the Silk Road Economic Belt based on the entropy weight method

○Feng Wei (School of Economic&Management, Northwest A&F University)

15:30–16:00

寧夏西海固地域の生態移民プロジェクトの過程における農村の基礎教育内容の選択方向に関する研究

○藏 志勇 (寧夏大学・島根大学国際共同研究所)

16:15–16:45

離島・中山間地域の高校魅力化事業の概要とその仕組み

○章 立 (島根大学大学院人文社会科学研究科)

16:45–17:15

中国・寧夏回族自治区における義務教育の地域格差について —他省及び自治区内での比較研究—

○鄭 路闊 (島根大学大学院人文社会科学研究科)

11月17日(土)【第2会場：島根大学生物資源科学部3号館201講義室】

14:00–14:15

Research progress on capacitive desalination

○Haibo Li (Ningxia Key Laboratory of Photovoltaic Materials (KLPM), Ningxia University)

14:15–14:30

Preparation and electromagnetic wave absorption properties of hollow Co based nanoparticles

○Peipei Yang (KLPM, Ningxia University)

14:30–14:40

Preparation of advanced nanoporous carbon based on MOF toward high efficiency capacitive deionization

○Tie Gao (KLPM, Ningxia University)

14:40–14:50

Synthesis of carbon@Na<sub>4</sub>Ti<sub>9</sub>O<sub>20</sub> (C@NTO) core-shell nanotubes for hybrid capacitive deionization

○Zhishuai Yue

14:50–15:00

Capacity fading of nonporous carbon electrode derived from ZIF-8 during insertion-desertion of lithium ion

○Yingjie Du (KLPM, Ningxia University)

15:00–15:10

Engineering pore texture film for solar thermal desalination

○Yuan Meng (KLPM, Ningxia University)

15:10–15:20 李海波先生の総評

15:35–15:45

Effect of gas flow rate on chemical reactions in Czochralski silicon crystal growth

○Yan Li (KLPM, Ningxia University)

15:45–15:55

Incorporating Ferrocenecarboxylato (-1) into  $[\text{Cu}^{\text{I}}_2(\mu\text{-dppm})_2]^{2+}$  (dppm = bis(diphenylphosphino) methane) scaffold for Hydrogen Peroxide Sensing

○Ru Wang (KLPM, Ningxia University)

15:55–16:05

Effects of Si content on the growth of primary Si during Al-Si solvent refining process

○Ang Gao (KLPM, Ningxia University)

16:05–16:15

Study on the hysteresis effect of perovskite solar cells

○Jingrong Meng (KLPM, Ningxia University)

16:15–16:25 楊珮珮先生の総評

16:25–16:40

低分子有機薄膜太陽電池の素子構造最適化の検討

○水野 斎・甚上知美・廣光一郎（島根大学総合理工学部 物理・マテリアル工学科）

16:40–16:50 李進先生の全体講評

11月18日（日）【第1会場：島根大学生物資源科学部3号館202講義室】

10:00–10:30

Research on new rural medical insurance system in Ningxia

○Zheng Xiaoting (Faculty of Humanities, Ningxia University)

10:30–11:00

Investigation and Research on Some Important Issues of Rural Social Security in Ningxia

○Wang Feng (International Joint Research Institute of Ningxia University)

11:00–11:30

中国の株式市場と世界の株式市場の相互依頼構造に関する研究 –金融危機の視点から–

○冀 昊 (西北農林科技大学 経済管理学院)

11:30–12:00

Research on Sino-Russian agricultural Development and trade cooperation relationship under the background of the "Belt and Road Initiative"

○Hu Huaping, Zhu Yuchun (College of economics and management, Northwest A & F Univ.)

13:30–14:00

Agricultural Trade between China and Russia: Dynamic and Prospect

○Xu Jiapeng, Wei Zibai, Zhang Yizhu (College of economics and management, Northwest A&F Univ.)

14:00–14:30

自動車静脈市場の発展経路に関する日中比較研究の課題

○阿部 新 (山口大学)

14:30–15:00

環境効果に配慮した電気自動車用充電スタンドの配置の優良化に関する研究

陳 穎・○胡 華平・琚 烈・鄭 立文 (西北農林科技大学経済管理学院)

15:00–15:30

The significance and implication of “referring to Confucianism to interpret Islamic classics” to religious development in China

○Liang Xiangming (Ningxia University)

11月18日(日)【第2会場：島根大学生物資源科学部3号館201講義室】

10:00-10:30

On Efficiency and Total Factor Productivity of Different Cultivation Modes of Apple-Planting

Ou Chunmei, Liu Jundi, Ma Xingdong, OShao Liqun (Center for Western Rural development, NWAUFU; College of Economics and Management, NWAUFU)

10:30-11:00

How Users' Heterogeneity Affects Self-governance Performance of Common-pool Resources: An Empirical Analysis of Small Hydraulic Facilities in Yellow River Area

OZhu Yuchun, Qin Guoqing (Center for China and Russia agriculture science and technology development policy research, Northwest A&F University)

11:00-11:30

島根県における家畜排せつ物処理と利用の現状

O加地紀之・坂本 萌 (島根県農林水産部畜産課)

11:30-12:00

飼料イネ発酵 TMR に配合するデンプン源の差異がホルスタイン種泌乳牛の乳生産成績と窒素出納に及ぼす影響

O一戸俊義<sup>1</sup>・宋 相憲<sup>1</sup>・安田康明<sup>2</sup> (1島根大生資・2島根県畜産技術センター)

13:30-13:45

Examining the effect of absorptive capacity on waste processing method adoption: an empirical study on Chinese pig farms

OYan Zhenyu<sup>1</sup>, Wang Chao<sup>2</sup>, Xu Jiapeng<sup>3</sup>, Huo Xuexi<sup>1</sup> (1Center for western agricultural development, Northwest A&F University, 2Hebei animal husbandry station, 3College of economics & management Northwest A&F University)

13:45-14:15

日本における環境保全型農業の成立過程と持続的展開要因についての一考察

—島根県の有機農業経営の取組みを事例に—

O谷口憲治 (就実大学経営学部・島根大学名誉教授)

14:15-14:45

生活レベルの向上は肥満をもたらすのか —成人中国人の検証から—

O趙殷鈺・鄭志浩 (西北農林科技大学経済管理学院)

## I - 2 日中農業・農村発展研究会の開催

日中の農業経済学関係の研究者が一堂に集まって、初めての研究会を実施した。これは、中国の西北農林科技大学経済管理学院から、寧夏研究所に提案があり、生物資源科学部農業経済学コースに照会し、共同研究会の開催が実現したものである。中国側からの提案の趣旨としては、研究所主催の日中国際セミナーを毎年実施し、そこに西北農林科技大学からも参加・報告があるが、多くの研究分野に渡るので、専門家同士での十分な議論が不十分で、日中の専門家同士で議論を深めたいということであった。

中国から、5名の研究者が来日し、島根大学の農業経済学分野からも報告者を含めて8名の参加があった。5月9日に一日かけて、島根大学で共同研究会を実施した。

### ○スケジュール

日中農業・農村発展研究会		
日時: 2018年5月9日(水) 9:45~17:00		
場所: 生物資源科学部2号館5階 537号室 農業経済学会議室		
言語: 日本語または中国語 逐次通訳付き		
9:00		ホテル迎え
9:45-10:00	開会の辞	国際交流センター教授 青晴海
10:00-10:30	日	保永展利 <sup>1</sup> ・永野萌 <sup>2</sup> 1) 島根大学学術研究院農生命科学系 2) 島根大学生物資源科学部
		中山間地域における旧小学校区のコミュニティ評価 —飯南町谷地区を事例として—
10:30-11:00	中	姜志徳/JIANG ZHIDE 西北農林科技大学経済管理学院
		陝北黄土高原退耕区典型农户生产的碳效应分析 (陝北黄土高原退耕地域における典型農戸の生産に係るカーボンバランスの分析)
11:00-11:30	日	藤本晴久 島根大学法文学部
		農林業センサスからみる島根県農業の動向
11:30-12:00	中	晋蓓/JIN BEI 西北農林科技大学経済管理学院
		面向空间扩张互侵过程的土地生态安全动态评价 (A dynamic approach to land ecological security assessment)
<b>Lunch</b>		
14:00-14:30	日	古安理英子 <sup>1</sup> ・赤沢克洋 <sup>2</sup> 1) 鳥取大学大学院連合農学研究科 2) 島根大学学術研究院農生命科学系
		島嶼部における訪問動機に基づく旅行者層の抽出
14:30-15:00	中	陈海滨/CHEN HAIBIN 西北農林科技大学経済管理学院
		Detection and attribution of vegetation greening trend across distinct local landscapes under China's Grain to Green Program: a case study in Shaanxi province
15:00-15:30	日	伊藤康宏 島根大学学術研究院農生命科学系
		島大CoC 事業・雲州人参産地再生 PJ2016.17
<b>Coffee Break</b>		
15:45-16:15	中	赵凱/ZHAO KAI 西北農林科技大学経済管理学院
		耕地保护经济补偿研究 (耕地保護に対する経済補填に関する研究)
16:15-16:45	日	井上憲一 島根大学学術研究院農生命科学系
		集落営農放牧の組織化過程と運営体制
16:45-17:15	中	南灵/NAN LING 西北農林科技大学経済管理学院
		农户耕地质量保护行为响应—公平性感知、信任与不确定性 (農戸による耕地の質の保護行為に対する共鳴—公平性の感知と信用、及び不確定性—)
17:15-17:20	閉会の辞	島根大学・寧夏大学国際共同研究所長 伊藤勝久
<b>Dinner</b> はちだい丸 (Hachidai Maru)		
松江駅前ユニバーサルホテル		

日本側の研究報告は中山間地域における具体的な事例に基づき、課題分析、問題解決方法を実証的に研究したものが多く、中国側の研究は、地域の事例に基づきながらそれを敷衍してのぞましい農業と農村実現の政策提案に関する研究が多かった。日中での研究スタイルの差が表れ非常に興味深いものであった。各報告のあと討論が行われ、相互に農業・農村の置かれている状況と政策などが話題になった。



研究会冒頭のあいさつ



報告の様子



研究会終了後の記念撮影

翌5月10日は、日本の中山間地域の現地視察のために飯南町を訪問した（西北農林科技大学5名、島根大学（伊藤，関），通訳2名 計9名）。まず、島根県中山間地域研究センターにおいて有田主席研究員から島根県内の中山間地域の状況、センターでの政策研究についてレクチャーを受けた。中国研究者の驚きとして第一に指摘されたのが日本での地方行政レベルでの研究水準の高さである。各県が地域政策を実施する為に多かれ少なかれ独自の研究機関で研究を実施しているが、当中山間地域研究センターはわが国でも極めて高水準の研究をしていることに大きな感銘を受けたようであった。その後、同センターの試験研究部門の視察を行った。また昼食は地元の薬膳料理を提供するレストランでとったが、新鮮で健康的な食材と提供についても質問があり印象深いようであった。

午後は2ヶ所の集落を訪問し、地域活動について視察を行った。まず谷集落では集落活

動による地域活性化の取組みと、地域交流拠点である谷笑学校について説明と質疑があった。次いで長谷集落では、集落営農から農業法人設立の経緯、地域の農地等の集団的管理について説明質疑があった。いずれも日本の農村の過疎高齢化の問題を理解しながら、その自治組織の活動水準の高さと民度に深い印象をもったようであった。



島根県中山間地域研究センターでの講義



飯南町谷地区の視察



飯南町長谷地区の視察



美しい農村で記念撮影

今回の分野別の国際研究会は初めての試みであったが、大変収穫が多く今後も続けたいという日中双方の意思が確認された。

## Ⅱ 日中学術共同調査と共同研究等の成果

### Ⅱ - 1 第 16 回セミナー後のエクスカージョンの実施

11 月 19 日（月）セミナーの翌日，2 班に分かれてエクスカージョンを実施した。

第 1 班の行先は雲南市・奥出雲町で，16 名（セミナー参加中国人研究者（寧夏大学，西北農林科技大学）13 名，通訳 1 名，保母顧問，伊藤所長）が参加し，テーマは「中山間地域の環境対策と有機農業をもとにした地域の取組み」というべきものであった。

まず雲南市役所ではゼロ・エミッション・ビルディングである新市庁舎の見学を行った。とくに水や通風による夏場の温度上昇を抑える仕組みに関心が集まった。また冬場の暖房として木質バイオマスボイラーによる熱供給システムと燃料である木質バイオマスを集積，チップ加工，各温熱施設に販売するグリーンパワー雲南を視察した。

次に有機栽培によるブドウを使用した高級ワインをつくる奥出雲ワイナリーを訪問し，検量ブドウの開発と栽培方法，ワインの製造工程について視察をおこなった。その後，道の駅を訪問し，地元で生産した有機農産物などをふんだんに用いた集落組織が指定管理をしている農家レストランで昼食をした。

中山間地域の行政，企業，自治体による取組みについて参加者は深く印象付けられたようであった。



奥出雲ワイナリー



農家レストラン

第 2 班は，本研究所の一戸・関両副所長が西北農林科技大学経済管理学院教員の要望に応じて，家畜糞尿の資化についての情報提供を行った。西北農林科技大学からは，徐家鵬博士，閻振宇博士および劉軍弟博士が参加し，一戸研究室の中国人留学生許坤（4 年）が通

訳を行った。

島根県畜産技術センター生産技術部酪農・環境科の布野秀忠科長より、センターが開発して特許取得した「産熱循環式牛糞腐熟促進システム」の説明と装置の視察をさせていただいた。また、株式会社仁多堆肥センターの福田明善場長より、自治体内での耕畜連携を可能としている堆肥センターの施設運営についての説明と施設の視察をさせていただいた。科技大グループが現在取り組んでいる研究テーマが「家畜堆肥施用による果実の有機栽培」であるため、堆肥の圃場施用についての視察を設けた。島根県農業技術センター栽培研究部果樹科の持田科長より研究用ブドウ園への堆肥施用技術についての説明とブドウ園の見学をさせていただいた。

今回、県内の農業研究機関の視察受け入れに際して島根県農林水産部畜産課の加地紀之調整監に多大なるご支援をいただいた。第16回セミナー時において、田中研究員の協力により科技大教員と一戸・関副所長は事前に連絡をとり、希望する視察先の選定を行った。参加した科技大教員からは、説明担当者に熱心な質問が寄せられ、通訳にあたった許学生に活躍いただいた。



仁多堆肥センター



畜産技術センター

## Ⅱ - 2 第二回東アジア六次産業化フォーラムに係る島根県内事例視察の実施

2018年7月23日(月)～24日(火)、西北農林科技大学の訪問団26名が島根県を訪れ、六次産業化に関連する企業や産品等を視察した。今回の訪問は、2017年11月16日に中国陝西省楊凌にある西北農林科技大学にて行われた、第一回東アジア六次産業フォーラムにおいて、本研究所・関副所長が、「島根県における六次産業化の実態－吉田ふるさと村を事例に」というタイトルで報告したことをきっかけに、現地視察が実現したものである。7月21日(土)に立命館大学で開催された第2回六次産業化フォーラムのエクスカージョン(滋賀県、島根県、千葉県における事例視察)の一部として行われ、本研究所は、島根県の事例視察のコーディネートを担当した。

訪問団は、2日間の日程で、島根県雲南市にある吉田ふるさと村、農事組合法人すがや等を訪れた。そのうち、吉田ふるさと村では、まず同社の石原様による事業に関するご説明に続き、その後工場を見学した。参加者からは、融資状況や利益分配、加工品の生産から観光事業の展開までの経緯等、運営に関する質問が数多くなされた。また、農事組合法人すがやの視察においても、案内いただいた同法人の錦織様に対し、法人化した理由や、農地所有者に対する福利、農協との違い等、多くの質問がなされ、農業事業者の法人化に対する参加者の強い興味を感じた。

本研究所は、今後もこのような視察団の受入を行い、各分野における日中の相互理解の促進と国際共同研究ネットワークの形成に努める所存である。

#### ○写真



吉田町におけるまち歩きの様子



菅谷たたらにてたたら製鉄の歴史を学ぶ

### II - 3 寧夏平羅県楽牧高仁草畜林基地の視察

2019年10月18日(木)、本研究所の一戸副所長が、県と自治区交流25周年記念式典に参加した特定非営利活動法人日本寧夏友好交流協会の新出雄彦氏(島根県健康福祉部地域福祉課指導監査監)と共に、寧夏と内モンゴル自治区との境界近くに位置する楽牧高仁牧場の視察を行った。

楽牧高仁牧場は、オーストラリアの牧場を併せるとギガファームと呼ぶのが適切な大規模肉用牛飼養企業である。肉用牛の肥育出荷だけではなく、多面的機能を有する牧場経営とクリーン畜産経営が特徴である。排泄された家畜糞尿は果樹園(リンゴ)に施用して高度な物質循環を図るとともに、有機栽培果実生産(化成肥料無施用)と地域住民の雇用創出に加え、観光集客事業を展開することを将来的な目標としている。楽牧高仁牧場CEOの呂学虎氏に説明と案内をしていただいた。

楽牧高仁牧場視察後、一戸副所長は寧夏回族自治区農牧庁主席獣医師の Luo Xiaoyu 氏と面談した。楽牧高仁牧場を研究対象地とした共同研究の進め方、研究予算申請および研究チームの構成について協議をおこなった。農牧庁での通訳は、以前、島根大学・寧夏大学国際共同研究所で業務を担当された郭迎麗さんに担当いただいた。



牧場の様子



農牧庁にて

## Ⅱ - 4 研究費の獲得

### ○科研費

・伊藤勝久「中山間地域における林業合理化・森林管理・住民生活の為のマネジメント＝モデルの構築」基盤研究 A（研究代表者：堤研二・大阪大学教授），2018 年度，38.3 万円，研究分担者

・関耕平「人形峠ウラン残土問題の実証研究：放射性廃棄物をめぐる地域紛争の検証研究」若手研究 B，2016～2018 年度，80 万円，研究代表者

・関耕平「福島原発被災地における帰還住民の生活再建と復興基金制度の意義に関する研究」，基盤研究 C（研究代表者：除本理史），2017～2019 年度，70 万円，研究分担者

・関耕平「ネクサス構造に着目した地域環境ガバナンスの包括的研究」，基盤研究 B（研究

代表者：八木 信一), 2016～2018 年度, 70 万円, 研究分担者

・関耕平「産業連関モデルを用いた原子力発電所立地自治体の経済・財政構造分析」, 基盤研究 C (研究代表者：三好ゆう), 2016～2018 年度, 20 万円, 研究分担者

#### ○その他外部資金

・伊藤勝久「島根県「水と緑の森づくり」アンケート調査に関する研究」共同研究, 島根県, 22.4 万円, 2018 年度

・一戸俊義 砂漠化対処に向けた次世代型「持続可能な土地管理 (SLM)」フレームワークの開発 受託研究, 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) 108 万円, 2018 年度

## II - 5 著書・論文等

### ○伊藤勝久 (島根大学生物資源科学部教授, 島根大学・寧夏大学国際共同研究所所長)

#### 【口頭報告】

Katsuhisa Ito, Forest management method and ideal forest type images of the citizen. The 15th Workshop on Social Capital and Development Trends in the Japanese and Swedish Countryside, MARG (Marginal Area Research Group), 2018.5.16-18, Kyoto

伊藤勝久, 木材産業クラスターについて—新たな国産材産地の地域的集積—. 林業経済学会第 53 回研究会 BOX「新たな国産材産地形成の現状とその意味について」, 東京大学, 2018 年 6 月 30 日.

#### 【その他】

伊藤勝久「2018(H30)年度 島根県水と緑の森づくりアンケート調査報告書」, 伊藤勝久・島根県林業課, 2019 年 3 月.

### ○一戸俊義 (島根大学生物資源科学部教授, 島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長)

#### 【論文】

Nobuyuki Kobayashi, Fujiang Hou, Atsushi Tsunekawa, Xianjiang Chen, Tianhai Yan, and Toshiyoshi Ichinohe. Appropriate level of alfalfa hay in diets for rearing Simmental crossbred calves in dryland China. Asian-Australasian Journal of Animal Sciences, 31: 1881-1889. 2018.

一戸俊義・菅野泰弘. めん羊における反芻胃内発酵および血中代謝諸元濃度と反芻発現との関連. 日本緬羊研究会誌 55: 1-8. 2018.

松野景・一戸俊義・宋相憲. めん羊脂肪細胞における chemerin および chemerin 受容体遺伝子発現の検討. 日本緬羊研究会誌 55: 9-13. 2018.

松野景・一戸俊義・宋相憲. 異なる脂肪酸処理がめん羊前駆脂肪細胞の脂質蓄積および分化に及ぼす影響. 日本緬羊研究会誌 55: 14-18. 2018.

【口頭報告】

山本楓子・一戸俊義・宋 相憲・坂本真実・帯刀一美. 黒毛和種繁殖牛の冬期舎飼い飼養成績. 第 68 回関西畜産学会徳島大会. 2018 年 9 月 24-25 日. 徳島市.

Shigdaf Mekuriaw, Atsushi Tsunekawa, Toshiyoshi Ichinohe, Nigussie Haregeweyin, Firew Tegegne, Nobuyuki Kobayashi, Yuji Yamasaki, Toshiya Okuro, Asaminew Tassew, Yeshambel Mekuriaw and Misganaw Wale. Concentration of major and trace minerals of natural pasture grazing lands in relation to requirements of Dairy animals in upper Blue Nile basin, Ethiopia. The 4th International Grassland Agriculture Conference, Lanzhou University, China. 25-27 September 2018.

一戸俊義・宋相憲・安田康明. 飼料イネ発酵 TMR に配合するデンプン源の差異がホルスタイン種泌乳牛の乳生産成績と窒素出納に及ぼす影響. 第 16 回日中国際学術セミナー. 2018 年 11 月 17-18 日. 松江市.

○関耕平（島根大学法文学部准教授，島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長）

【著書】

八木信一・関耕平『地域から考える環境と経済：アクティブな環境経済学入門』，有斐閣，2019 年 3 月.

関耕平「8-21 地方公共団体における環境政策の役割」，環境経済・政策学会編『環境経済・政策学事典』所収，丸善出版，2018 年 5 月.

【論文】

関耕平「島根県西部地震および鳥取県中部地震からの復興に向けた課題：局地的被害と激甚災害指定，国による復興事業への地方財政措置をめぐって」，『自治総研』2019 年 3 月号.

関耕平「2019 年度政府予算の特徴と地方行財政の課題」，『住民と自治』2019 年 2 月号.

関耕平「離島における地域医療の提供とナショナル・ミニマム保障：公立久米島病院の事例を中心に」門野圭司編著『生活を支える社会のしくみを考える』日本経済評論社，69-97，2019 年.

関耕平「三江線廃止とローカル線存続の課題—地域の持続可能性と鉄道の役割—」『経済』2018 年 3 月号，72-83.

【口頭報告】

関耕平「公害被害地域における環境再生と移行ガバナンス—栃木県足尾町と富山県神通川流域の事例を中心に—」，環境経済・政策学会，上智大学（東京都），2018 年 9 月.

関耕平「島根県西部地震からの復興に向けた課題 ～局地的被害と激甚災害指定をめぐる政府間財政関係を中心に～」，日本財政学会第 72 回全国大会，香川大学（香川県），2018 年 10 月.

【その他】

関耕平「島根県西部地震の復興／基金造成による息長い支援を」, 山陰中央新報「談論風発」, 2018年5月13日.

関耕平「宇都井駅が描く未来への投資：インフラの新しいかたち」, 山陰中央新報, 2019年3月10日.

○保母武彦（島根大学名誉教授，島根大学・寧夏大学国際共同研究所顧問）

【論文】

保母武彦「原発立地都市・柏崎市の地域と経済一崩壊した『原発の地域経済効果』神話を超えて一」, 立石雅昭ほか編『原発再稼働と自治体—民意が動かす「3つの検証」』所収, 自治体研究社, 119-133, 2018年11月.

【口頭報告】

保母武彦「島根における脱原発，再エネへの転換と地方自治」, 脱原発をめざす首長会議主催『再エネを主力電源に 周辺自治体に事前了解権を』, 松江市, 2018年7月21日.

保母武彦「農山村の現状と今後の展望」, 農業理論研究会主催『現代の食料・農業・農村を考える』出版記念会, 大阪私学会館, 2018年6月9日.

保母武彦「『過疎』指定を逆手に真鶴町の発展を」, 真鶴町, 2018年5月25日.

○田中奈緒美（島根大学・寧夏大学国際共同研究所研究員）

【論文】

田中奈緒美「談話理解の視点から見た話題開始のための談話標識の分類」, 『日本語教育』170, 130-137, 2018年8月.

【口頭報告】

田中奈緒美「話題転換を表す『で』と『ところで』について」, 実在の誤用に基づく類義表現研究会第5回研究発表会, 大阪市, 2018年7月21日.

○汪発武（島根大学総合理工学部教授，島根大学・寧夏大学国際共同研究所兼任研究員）

【論文】

Wang FW, Dai Z, Nakahara Y, Sonoyama T (2018) Experimental study on impact behavior of submarine landslides on undersea communication cables. *Ocean Engineering*, 148, 530-537.

Wang FW, Dai Z, Okeke ACU, Mitani Y, Yang HF (2018) Experimental study to identify premonitory factors of landslide dam failures. *Engineering Geology*, 232, 123-134.

Kun Song, Wang FW, Qinglin Yi, Shuqiang Lu (2018) Landslide formation behavior influenced by water level fluctuations of the Three Gorges Reservoir (China). *Engineering Geology*, 247, 58-68.

Dai Z, Wang FW, Cheng Q, Wang Y, Yang HF, Lin Q, Yan K, Liu F, Li K(2018) A giant historical landslide on the eastern margin of the Tibetan Plateau. *Bull Eng Geol Environ*, 1-14. <https://doi.org/10.1007/s10064-017-1226-x>

Wang FW, Okeke ACU, Kogure T, Sakai T, Hayashi H (2018) Assessing the internal structure of landslide dams subject to possible piping erosion by means of microtremor chain array and self-potential surveys. *Engineering Geology*, 234, 11-26. <https://doi.org/10.1016/j.enggeo.2017.12.023>

**○桑原智之（島根大学生物資源科学部准教授，島根大学・寧夏大学国際共同研究所兼任研究員）**

**【論文】**

橋口垂由未，土江麻代，桑原智之，佐藤利夫「排水中の医薬品類に対する中圧水銀ランプの分解能力に関する研究」『日本防菌防黴学会誌』46 (8)，329-336，2018年8月。

**【口頭発表】**

Tomoyuki Kuwabara 「Ecotechnological water purification using a novel inorganic material」Mini-symposium -Systems and Technologies for the Aquatic Environment Management in Asia，2018年11月27日，東広島市。

橋口垂由未，LEE Aaron，桑原智之，佐藤利夫，谷口省吾，尾崎博明，Dai Ji，Guanhao Chen「硫酸還元菌による下水中医薬品類の分解」第53回日本水環境学会年会，2019年3月7-9日，甲府市。

新宅みゆき，桑原智之，佐藤利夫，山越裕司「PTFEによる反射光を利用した外部照射UV反応器の基礎的研究」第53回日本水環境学会年会，2019年3月7-9日，甲府市。

Mokgata Seswahla, Kuwabara Tomoyuki, Sato Toshio「Preparation of Si-Fe-Mg Mixed Hydrous Oxide and Investigation of the Efficiency in the Removal of Phosphate from Aqueous Solutions.」第53回日本水環境学会年会，2019年3月7-9日，甲府市。

**○高田晋史（島根大学生物資源科学部助教，島根大学・寧夏大学国際共同研究所兼任研究員）**

**【論文】**

高田晋史・中塚雅也，「農家楽の業務外部化とビジネスエコシステムの形成：中国北京市懷柔区官地村を事例として」『農村計画学会誌』第37巻論文特集号，農村計画学会，252-257，2018年11月。

國吉賢吾・高田晋史・中塚雅也，「消費者の地域農産物に対する主観的意味づけ」『農村計画学会誌』34(4)，農村計画学会，376-381，2019年3月。

**【口頭発表】**

高田晋史「日本休閒農業的發展現状與展望」第一屆中日休閒農業研究会，2018年11月

13-16 日, 中華人民共和国・杭州.

高田晋史・中塚雅也「農家楽の業務外部化とビジネスエコシステムの形成：中国北京市懷柔区官地村を事例として」農村計画学会 2018 年度秋期大会学術研究発表会, 2018 年 12 月 1-2 日, 長崎.

高田晋史・南谷奈々子・古安理英子・赤沢克洋「地域づくりの担い手育成における対話型ロールプレイングゲームの有効性：短縮版「SIM まつえ 2030」を事例として」第 68 回地域農林経済学会大会。2018 年 10 月 12-14 日, 東京.

David Malik, Shinji Takada, A Study on The Gambir Production and Distribution Structure: Case Study on Mahat, Lima Pulu Kota Regency, West Sumatra, International Conference of Asian Rural Sociology Association , 2018 年 8 月 27-30 日, Indonesia, Makassar.

## ○水野斎（島根大学総合理工学部助教, 島根大学・寧夏大学国際共同研究所兼任研究員）

### 【論文】

Hitoshi Mizuno, Ryunosuke Kondo, Hiroki Iida, Ichiro Hiromitsu, "Fabrication and Characterization of Organic Solar Cells Using a Riboflavin Derivative", 第 16 回日中国際学術セミナープロシーディング集, 87-98, 2019 年 3 月.

### 【口頭発表】

水野 斎, 甚上 知美, 廣光 一郎, "低分子有機薄膜太陽電池の素子構造最適化の検討", 第 16 回日中国際学術セミナー. 2018 年 11 月 17-18 日. 松江市.

### 【その他】

Hitoshi Mizuno, Shinya Higuchi, Ichiro Hiromitsu, "Organic Photovoltaic Cells Fabricated Using Water-Dispersed Donor-Acceptor Composite Nanoparticles", The 6th Japan-China Symposium on Nanomedicine, Shimane University, Japan, 28 (Mon), May, 2018. (国際会議ポスター発表)

水野 斎, 渡邊 瑞生, 廣光 一郎, 柳 久雄, "BP2T ナノ粒子薄膜を含有するマイクロキャビティの作製とその評価", 第 66 回応用物理学会春季学術講演会, 東京工業大学大岡山キャンパス, 東京, 2019 年 3 月 9 日. (国内会議ポスター発表)

甚上 知美, 水野 斎, 廣光 一郎, "低分子有機薄膜太陽電池の素子構造最適化の検討", 第 66 回応用物理学会春季学術講演会, 東京工業大学大岡山キャンパス, 東京, 2019 年 3 月 9 日. (国内会議ポスター発表)

水野 斎, 那須 俊佑, 青木 珠緒, 岡野 泰彬, 大森 賢治, 廣光 一郎, "導電性高分子: ポルフィリン混合膜を活性層に用いたマイクロキャビティの光学特性", ナノ学会第 16 回大会, 東京大学浅野キャンパス武田ホール, 東京, 2018 年 5 月 10 日. (国内会議ポスター発表)

**○周建中（東京成徳大学人文学部国際言語文化学科長・教授，島根大学・寧夏大学国際共同研究所客員研究員）**

**【論文】**

周建中「達成感と意欲の持続・向上を重視した中国語効果的教授法と習得法—中国語の醍醐味に基づく区切り法，達成度目安法，流暢音読法—」（An Effective Teaching Method and Acquisition Method for Learning Chinese that Emphasizes Sustained and Improved Achievement and Motivation —A method for gaining a sense of the way Chinese is really used by teaching how to divide up sentences, how to maintain a sense of achievement and continued motivation, and how to read fluently—），東京成徳大学研究紀要—人文学部・応用心理学部—，26，51-58，2019.3.15.

**【口頭報告】**

周建中 講座「中国四大発明とその他の発明」日中友好協会千葉県東葛飾支部主催，2019.2.11,松戸市，2019.2.18，千葉市.

**○谷口憲治（就実大学経営学部教授，島根大学名誉教授，島根大学・寧夏大学国際共同研究所客員研究員）**

**【論文】**

谷口憲治「農業の六次産業化の多様化とその形成要因—岡山県および周辺にみられる農業の六次産業化諸形態を事例に—」『就実論叢』第48号，pp.83-103，2019年2月.

谷口憲治「日本における環境保全型農業の成立過程と持続的展開要因についての一考察—島根県の有機農業経営の取組を事例に—」『第16回日中国際セミナー論文集』，pp.206-221，2019年3月.

**【口頭報告】**

谷口憲治「日本における環境保全型農業の成立過程と持続的展開要因についての一考察—島根県の有機農業経営の取組みを事例に—」，第16回日中国際学術セミナー，2018年11月17-18日，松江市.

## Ⅲ 2018 年度研究所活動の記録

### Ⅲ - 1 研究交流活動

#### Ⅲ - 1 - 1 さくらサイエンスプランによる寧夏大学学生の受入

2018年11月11日(日)～20日(火), さくらサイエンスプランにより寧夏大学太陽光発電材料重点実験室の学生8名と, 同実験室の李海波先生と楊珮珮先生が島根大学を訪れた。

今回の研修は, 本学総合理工学部の水野齋助教が受入責任者となり, 「薄膜太陽電池の振興に資する技術検討及び科学技術教育」をテーマに実施された。研修プログラムには, 太陽電池に関する研究の後継者を育成するという目的に合わせ, 学内での太陽電池やエネルギー問題に関する講義等の他, 近隣の自然エネルギー施設の視察, 有機薄膜太陽電池の作製実験やその結果に関する討論が組み込まれた。

また, 研修期間中に開催された本研究所主催の国際学術セミナーで英語による研究発表を行ったことも, 学生たちが今後研究活動を続けていく上で, 有意義な経験となった。セミナーレセプション時には, 学生一人一人が感想を述べ, 「今回, 初めて英語でのプレゼンを行い, とても良い経験ができた」, 「自分の研究テーマは太陽電池に関するものではないが, 水野先生や日本人の学生の発表を聞き, 太陽電池についての理解が深まった」等の感想が聞かれた。

このプログラムをきっかけとして, 今後も寧夏大学太陽光発電材料実験室と協力し, 新しい共同研究の始動に向けて努力していく所存である。

#### ○交流の概要

薄膜太陽電池が抱える技術的課題やその解決方法に関して, 以下のことを議論するとともに, 科学技術体験を通じた教育を行う。

1. 無機太陽電池や有機薄膜太陽電池の研究背景や研究開発最前線を紹介し, 情報と理解の共有を図る。講義・セミナーや資料をもとに理解を促進する。
2. 日中学術セミナーを開催し, 2日間にわたって中山間地域におけるエネルギー問題に関して議論する。教員と学部生・大学院生を含めた研究発表会では, 研究背景, 実験結果とその改善方法を探求する手法を身につける。
3. 自然エネルギーに関する理解を深めるためのガイドツアー(バーチャル太陽光発電所見学ツアー([https://loop.co.jp/epc/virtual\\_tour/](https://loop.co.jp/epc/virtual_tour/)), ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク, とっとり自然環境館など)を行い, 視察ツアーで得た知見を共有する。

4. 倉敷科学センターを見学し、科学技術に対する理解を深める。
5. 太陽電池の技術検討や科学技術教育を行うためには、実際に実験を経験することが重要である。そのために、有機薄膜太陽電池の作製やその特性評価の体験を行い、エネルギー変換効率を向上させるための指針について討議する。

○スケジュール

日数	日付	曜日	時間	イベント
1	11月11日	日	PM	銀川空港⇒関西国際空港(HO1335便)⇒松江
2	11月12日	月	AM	島根大学にてオリエンテーション, 学長表敬
			PM	学内案内, 研究室見学
3	11月13日	火	AM	島根大学と寧夏大学の教員による講義・セミナー
			PM	教員と学部生・大学院生を含めた研究発表会
4	11月14日	水	終日	自然エネルギー関連施設の視察
5	11月15日	木	終日	有機薄膜太陽電池の作製やその特性評価
6	11月16日	金	終日	両大学の学生・教員が参加して有機薄膜太陽電池の実験結果に関して議論
7	11月17日	土	終日	日中国際学術セミナー(島根大学・寧夏大学の教員と学生による研究発表会, 意見交換)
8	11月18日	日	終日	松江市の文化施設の視察と日本文化体験
9	11月19日	月	終日	倉敷科学センター視察, 修了式
10	11月20日	火	AM	倉敷⇒関西国際空港(JR利用)
			PM	関西国際空港⇒銀川空港(HO1336便)

○写真





### Ⅲ - 1 - 2 島根大学学生中国研修団の受入

2019年3月18日(月)～21日(木)、島根大学の学生研修団14名(学生12名、引率2名)が寧夏を訪れ、視察等を行った。この研修は、中国人民大学との協定により毎年行われている相互訪問の一環として行われたもので、より多様な中国の姿を参加学生に知ってもらうため、今年度から寧夏での行程が追加された。本研究所は、寧夏における行程のコーディネートを担当した。

寧夏での行程のうち、18日には参加学生が本研究所を訪れ、引率で同行した本研究所の関耕平副所長の案内で研究所内を見学した後、図書室において寧夏大学日本語科の学生と

交流した。寧夏大学日本語科の学生は、研修団滞在中の夕食も少人数のグループに分かれてアテンドしてくれ、研修参加学生にとって、寧夏大学の学生の生活の様子を垣間見る経験となった。

今回の研修行程には、学生交流の他、寧夏の砂漠化防止への取り組みや生態移民村の視察、名所旧跡の見学を組み込んでおり、中国西北地域ならではのダイナミックな自然環境や、それに合わせた人々の営みの一端に触れてもらえたことと思う。

○写真



○スケジュール

	日にち	都市	交通機関	現地時間	スケジュール
1	3月18日(月)	北京 銀川	専用車 飛行機  徒歩  専用車	4:00 6:50-9:00 10:30 11:30-12:30  12:30 13:00-13:30  13:30 14:00-17:00  17:00 18:00	空港へ出発 CN7669(北京首都-銀川河東) ホテル到着 チェックイン、休憩 ホテル内食堂にて昼食 (11:30 ホテル2階食堂集合) 国際共同研究所へ移動、研究所内見学 <b>オリエンテーション</b> <b>日本語科の学生と交流</b> 寧夏大学出発 <b>西部映画村(鎮北堡影視城)見学</b> (日本語科学生12名同行) 映画村出発 懷遠市場付近で夕食(各自、日本語科学生が案内) 夕食後各自ホテルへ
2	3月19日(火)	銀川  靈武	専用車	7:00-8:00 8:00  9:00-12:00  12:00 14:00頃  17:00頃 18:00頃	朝食 ホテルロビー集合、出発 (途中、車窓より寧東エネルギー区) <b>水洞溝遺跡 見学</b> ・古代(3万年前)遺跡 ・明代万里の長城 ・明代軍事施設(蔵兵洞) 昼食 <b>白芨灘自然保護区 視察</b> ・白芨灘自然保護区の緑化活動視察 (砂漠, 草方格, 経済果樹林等) ・保護区内緑化博物館見学 白芨灘自然保護区出発 ホテル着後夕食(各自) 夕食後各自ホテルへ
3	3月20日(水)	銀川	専用車	7:00-8:30 8:30 9:00-10:00  10:00-10:30 10:30-13:00 13:00-14:00 14:00-15:00 15:00-17:00  18:00	朝食 ホテルロビー集合、出発 <b>生態移民村 視察</b> ・村委員会訪問 移動 <b>西夏王陵 見学</b> 昼食 ホテル着後休憩、自由行動 <b>留学説明会</b> ・島根大学個別説明時に、学生からも日本紹介(5分程度) 夕食(参加学生全員で食事) 夕食後各自ホテルへ
4	3月21日(木)	銀川 上海	専用車 飛行機 地下鉄 飛行機	5:30 8:30-11:15  17:40-20:40	チェックアウト、空港へ出発 MU5276(銀川河東-上海虹橋) 虹橋⇒浦東(最大95分) MU293(上海浦東-広島)

III - 1 - 3 研究所運営に関する協議等

- 1) 2018年11月18日(日) 運営委員会(島根大学)  
(研究所分室, 伊藤, 一戸, 関, 蔵志勇)

協議内容

- ・第4次基本合意書の内容及び合意書更新に係る手続きの方法について
- ・第17回日中學術セミナー及び研究所設立15周年事業について

2) 2019年3月18日(月) 運営委員会(寧夏大学)

(外国語学院会議室, 関, 田中, 周震, 蔵志勇, 李楊)

協議内容

- ・2019年度事業計画について
- ・第17回日中セミナー(寧夏で開催予定)の日程について
- ・設立15周年記念事業の内容について
- ・第4次基本合意書の内容及び締結について
- ・その他情報交換

### Ⅲ - 2 2018年度その他の交流記録

#### Ⅲ - 2 - 1 寧夏大学創立60周年記念事業に係る服部泰直学長の寧夏訪問

2018年9月, 寧夏大学は創立60周年を迎えた。9月14日(金)~15日(土)には, 記念行事が行われ, 海外友好協定校の中から, 本学の服部泰直学長が, アメリカ, ドバイ, モロッコの各友好校の代表とともに招待された。寧夏滞在期間中に服部学長が行った公務について, 以下個別に記載する。

##### Ⅲ - 2 - 1 - 1 寧夏大学何建国校長との面会

2018年9月14日(金), 服部学長は寧夏大学の何建国校長と面会し, 両校の今後の協力について意見を交わした。寧夏大学の謝応忠副校長, 同対外交流合作処の高桂英処長, 本学国際交流センターの李婉特任助教, 本研究所の田中研究員が同席した。

会見では, まず服部学長から, 今回の記念活動への招待と, 長年に渡る協力関係に対するお礼が述べられた。また, 本学が国外に有する唯一の在外機関である研究所の意義を生かしながら, 教育や社会の変容に合わせた新しい交流の進展を願う旨が述べられた。何校長は, 長年継続されてきた本研究所を通じた交流を讃えるとともに, 従来の社会学から, 理工学等へも分野を広げていきたいとの考えを示した。それを受けて服部学長は, さくらサイエンス事業を通じて, 今年11月に寧夏大学の太陽光発電材料実験室の大学院生を8名招聘する予定であることに触れ, このような手段を通じて, 交流が広がっていくことを望んでいると述べた。さらに, 学生交流や留学等の方法を通じて, 世界で活躍できる人材を共同で育てていくことで一致した。

○写真



### Ⅲ - 2 - 1 - 2 寧夏医科大学の訪問

2018年9月14日(金)、服部学長は寧夏医科大学を訪問し、孫涛校長、徐芳研究生院院長、呉川对外合作交流処副処長らと面会した。本学からは、国際交流センターの李婉特任助教と本研究所の田中研究員が同行した。

初めに行われた孫校長との面会は、孫校長が日本への留学経験を持つこともあり、終始なごやかな雰囲気で行われた。本学医学部と寧夏医科大学は、長年にわたって交流を行っており、今後はその基礎の上で、修士・博士一貫課程におけるダブルディグリー制度の実現や、看護関連の交流の促進に対して双方ともに努力をする旨で一致した。

その後、呉川副処長の案内で寧夏医科大学雁胡キャンパスを見学し、実験室の集まる科学技術センターや、大学歴史館、看護学院において、研究内容や設備の紹介を受けた。また、島根大学を卒業した牛建国教授らと交流する機会もあり、充実した訪問となった。

○写真



Ⅲ - 2 - 1 - 3 寧夏大学創立 60 周年記念事業への参加

2018年9月14日（金）～15日（土），服部学長は寧夏大学成立60周年記念活動に参加した。

9月15日の記念式典に先立ち，14日午後には学長フォーラムが開催され，招待大学の学長ら8名による講演が行われた。服部学長は講演の中で，島根大学の概要及び特色ある研究・教育活動を紹介した後，寧夏大学との交流の歴史を振り返り，今後の寧夏大学との協力関係について，本研究所を核とする研究交流，島根大学留学経験者による同窓会組織を活用した学生交流の推進，自治体間の連携関係を活用した大学交流の推進の3つを柱として挙げた。会場では，約220名の寧夏大学関係者が熱心に講演に耳を傾けた。

15日午前の記念式典では，寧夏大学の何建国学長によるあいさつ，教員代表及び学生代表による講演等の後，主に寧夏大学音楽学院の関係者によるパフォーマンスが行われた。パフォーマンスは，歌や踊りのみならず，演劇やコント等盛りだくさんの内容で，観客は盛大なステージを楽しんだ。

## ○写真



### III - 2 - 1 - 4 島根大学懇談会の開催

2018年9月15日(土)、本研究所4階報告庁にて島根大学懇談会を行い、寧夏大学土木学院、農学院、数理計算学院、美術学院、外国語学院、太陽光発電材料重点実験室他の学生、76名が参加した。本学からは、服部学長の他、李婉特任助教と田中研究員が出席した。この懇談会は、寧夏大学農学院出身である李助教の経験を学生たちに共有してもらおうと、服部学長が発案し、島根大学の主催で行われた。

まず、冒頭の服部学長によるあいさつでは、学長のアメリカ滞在時の経験から、実際の海外生活では語学は実はあまり問題にならず、交流したいと思う気持ちがあればその気持ちは伝わること、初めから無理だとあきらめず、ぜひ多くの学生に島根大学に来てほしいこと等が述べられた。続く李助教による島根大学紹介では、多くの写真を用いて自身の体験が語られ、李助教のにぎやかな語り口に、会場では終始笑いがこぼれていた。最後に行われた質疑応答では、留学手続きや島根での生活、島根大学が行っている留学生への優遇制度等に関する質問の他、初めて寧夏を訪れた服部学長に対し、寧夏の印象や中国料理が口に合うかどうかの質問も飛び出し、会場は和やかな雰囲気包まれた。

## ○写真



### Ⅲ - 2 - 1 - 5 本研究所関連教員との懇談

2018年9月15日(土)、服部学長は本研究所等を視察し、本研究所関連の寧夏大学の教員と交流した。

服部学長は、まず本研究所の図書館を視察し、田中研究員から図書館設立の経緯や利用状況に関する説明を受けた。その後、学生との交流会をはさんで、日本側事務室にて本研究所の蔵志勇中国側副所長、及び寧夏大学外国語学院日本語科の崔沫舒主任と懇談し、より広い分野の教員に本研究所を利用してもらうための活動方針や、日本語科の学生に対する3+1プログラム等によるダブルディグリー制度の実現の可能性等について検討した。

研究所の視察後、2018年11月にさくらサイエンス事業を通じた交流が予定されている寧夏大学太陽光発電材料実験室を見学し、当該実験室の李進主任から実験室の状況や設備について説明を受けた。

さらに、本研究所主催で行われた夕食の際には、前中国側所長である高桂英教授他、寧夏大学側の共同研究者9名と懇談し、各分野の研究の進展や今後の計画等について意見を交わした。

○写真



Ⅲ - 2 - 2 島根県・寧夏回族自治区友好交流協定締結 25 周年記念事業への参加

2018 年度は、島根県と寧夏回族自治区の友好交流協定締結 25 周年の節目であり、両自治体の間で様々な記念事業が行われた。本研究所が関わった各記念事業について、以下個別に記載する。

Ⅲ - 2 - 2 - 1 島根大学総合博物館における写真展の開催

2018 年 9 月 27 日（木）、寧夏回族自治区関係者が島根大学を訪問し、服部泰直学長に表敬訪問をし、次いで総合博物館で実施中の寧夏回族自治区写真展を見学した。これは友好

協定 25 周年記念事業のために、寧夏回族自治区関係者（王紫雲自治区政治協商會議副主席，他 9 名）が島根県の招きで訪問したことに一環である。

総合博物館では、島根大学と寧夏大学の交流関係もあるので、寧夏の写真パネルを展示しており、自治区関係者にも大学間の交流の歴史と取組みを紹介した。また一行は博物館の常設展示である島根県の特徴を示す地質的特徴や動植物の特徴の説明、また古地図などにも関心を寄せていた。

#### ○写真



総合博物館における寧夏写真展の視察



総合博物館常設展示の視察

### Ⅲ - 2 - 2 - 2 島根県訪問団の寧夏訪問への同行

2018 年 10 月 16～18 日、島根県と寧夏回族自治区の友好交流協定提携 25 周年を記念し、藤原孝行島根県副知事を団長とする島根県訪問団が寧夏を訪問し、本学からは、訪問団の一員として、一戸俊義副所長と田中研究員が活動に参加した。

16 日午後、銀川市に到着した一行は、悦海賓館にて、石泰峰寧夏共産党委員会書記らと面会した。石書記は一行を歓迎し、25 年という年月は、一人の人間が立派な成人となる時間であり、両自治体の友好関係も、25 周年を契機として協力分野を拡げ、新しい協力関係を探っていきたいと述べ、藤原副知事も、寧夏回族自治区からの招待に感謝するとともに、25 年の間に民間を含めた様々なレベルでの友好が深まっていることに触れ、両自治体の交流の更なる発展に対する期待を表した。

16 日の晚餐会では、石書記が「寧夏特産の灘羊肉はサミットで要人に供するほど品質は高いが牛肉の質は充分ではない」と話したことをきっかけに、一戸副所長が「寧夏で灘羊と肉用牛に関する共同研究を行っている」とアピールした。それに対し石書記が「研究所の成果に期待している」と笑みを返された。

17日午前には、白芨灘自然保護区の友好林において植樹活動が行われ、40本の赤松が両自治体関係者の手によって植えられた。午後は寧夏大学を訪問し、何建国校長との面会の他、美術学院で行われた寧夏・島根友好交流協定25周年記念写真展を見学した。

17日の夜に行われた祝賀会は、自治区の咸輝主席をはじめとする政府関係者の他、歴代の友好交流員、寧夏大学、寧夏医科大学等、両自治体の友好関係に貢献した人々が参加し、盛大に行われた。咸輝主席は、あいさつの中で、今後の重要な交流分野の一つとして学術交流を挙げ、島根大学と寧夏大学の共同研究所である本研究所の重要性に触れた。

#### ○訪問団スケジュール

日付	時間	日程
10月16日（火）	15:20	CA1219 銀川空港到着
	16:20	悦海ホテルチェックイン
	17:30～	寧夏回族自治区人民政府表敬
	18:00～19:30	人民政府主催歓迎レセプション
10月17日（水）	7:30～	朝食
	08:00～09:30	白芨灘へ移動
	09:45～	寧夏・島根友好交流25周年記念植樹式
	11:00～12:00	市内へ移動
	12:20～	昼食
	13:30～	寧夏大学へ移動
	14:00～15:00	寧夏大学表敬
	15:10～15:40	銀川志輝源石ワイナリーへ移動
	15:40～16:40	銀川志輝源石ワイナリー視察
	16:40～17:20	ホテルへ移動
	18:00～20:30	寧夏・島根友好交流25周年記念祝賀会
	10月18日（木）	08:20～
09:00～		チェックアウト
09:20～09:30		銀川国際展覽センター
09:30～10:00		寧夏回族成立60周年成果展視察
10:10～10:50		空港へ移動
12:15～		HO1335帰国

○写真



Ⅲ - 2 - 2 - 3 日中植林・植樹国際連携事業交流団の来訪

2018年11月27日(火)、日中平和友好条約40周年及び島根県・寧夏回族自治区友好協定25周年を記念して、寧夏回族自治区の大学生44名と引率教員・自治区担当者5名が島根大学を訪問し、本学学生とともに植樹活動を行った。

当日は、中国原産のカランマキの記念植樹を日中学生代表4名で行った後、日中学生が昼食を取りながら交流会を行なった。午後のセッションでは、学生による大学紹介、島根大学で環境に関する活動を行っている3つの学生サークルの活動紹介とグループディスカッションを行った。学生たちは、初めは緊張していたが、次第に打ち解け、活発な議論が交わされた。本研究所の伊藤所長及び一戸副所長も植樹や午後のセッションに参加し、自

治区担当者や学生らとの意見交換を行った。

○概要及びスケジュール

日時：2018年11月27日（火）12:10～17:00

会場：大学会館3階 会議室

司会進行：島根大学国際交流センター 李婉特任助教

島根大学側出席者：

国際交流センター 出口 顕 センター長

寧夏共同研究所 伊藤勝久 所長

一戸俊義 副所長

国際交流センター 青晴海 教授

// 佐々木亮 特任講師

// 李婉 特任助教

国際交流課 山根充司 補佐、岡田高文 職員

時刻	内容
12:10～12:30	植樹活動 日中学生代表 各2名による植樹，標柱設置 (教養講義棟2号館南側植え込み内ラカンマキ1本)
12:45～13:30	昼食交流 島根大学第二食堂（ハラルフード提供） (日本人学生と中国留学生同行)
10分休憩（移動）	
13:45～14:05	歓迎挨拶 国際交流センター長 出口 顕
14:05～15:05	島根大学紹介：島根大学アンバサダー（英語） 留学説明会：国際交流センター 青晴海教授（英語）
15分休憩	
15:20～16:50	3つの島根大学学生グループと交流 ・EMS グループ ... Gr. 1 ・島根大学バイオマス活用研究会 ... Gr. 2 ・地域活動サークル ACT ... Gr. 3 通訳者：留学生，日本語通訳できる訪日団学生
16:50～16:55	訪問団挨拶 寧夏人民対外友好協会 弁公室 副主任 陳懷軍
16:55～17:00	集合写真

○写真



Ⅲ - 2 - 2 - 4 友好交流 25 周年記念写真展への協力

2018 年 4 月 25 日（水）～30 日（月），島根県と寧夏回族自治区の友好協定締結 25 周年を記念して，島根県立美術館にて記念写真展が開催され，本研究所からも写真や映像を出展した。

○概要

1. 展示会名：島根県・中国寧夏回族自治区友好交流 25 周年記念写真展
2. 期間：2018 年 4 月 25 日（水）～2018 年 4 月 30 日（月）
3. 会場：島根県立美術館ギャラリー（無料）
4. 開催時間：10:00～18:00（最終日は 15:00 まで）
5. 主催：島根県
6. 展示内容・島根県と中国寧夏回族自治区との 25 年間の交流の歴史
  - ・寧夏の史跡，風景写真
  - ・寧夏の自然や街の紹介動画放映等

○ポスター・写真



Ⅲ - 2 - 2 - 5 銀川ビフォー&アフター写真展への協力

2018年12月7日(金)～27日(木)、島根県立図書館1階特別研修室にて、「銀川ビフォー(1995)&アフター(2018)写真展」が開催された。この写真展は、島根県と寧夏回族自治区の友好提携25周年記念連携事業の一環として、「銀川ビフォー&アフター写真展」実行委員会の主催、島根県高等学校教職員組合の後援で行われたもので、本学元学長である北川泉先生が所蔵する1980年代からの大学間交流の写真等も展示された。

この写真展の企画は、1995年及び2000年に寧夏・銀川第一中学の生徒と共に寧夏の賀蘭山・六盤山で登山活動を行った島根県の高校生国際交流登山隊が、2018年9月に銀川を再訪した際、寧夏の大きな変貌に驚いたことがきっかけとなり実施に至った。また、1900

年に日本人として初めて現寧夏地域を訪問した浜田市出身の学僧・能海寛の生涯と業績も併せて紹介された。

#### ○概要

期 間：2018年12月7日（金）～27日（木）

会 場：島根県立図書館1F 特別研修室

テーマ：「写真で振り返る寧夏のこの25年。銀川市の発展，チベット仏教求法僧・能海寛！」

内 容：1. 銀川市の発展（新旧写真の比較）

- ・1995，2000年登山隊撮影の写真
- ・現在の銀川の街の風景 ドローン撮影動画など

2. 生誕150年・能海寛（1868-1901，浜田市出身）の生涯と業績

#### ○写真



### Ⅲ - 2 - 3 島根県内の関連機関との情報交換・連携の強化

2018年度，以下の通り島根県内の関連機関（島根県，松江市，しまね国際センター，島根県立大学，NPO 日本寧夏友好交流協会）を訪問し，情報交換を行った。

#### ①島根県文化国際課訪問

訪問日時：2018年7月31日（月）10:00～11:30

訪問者：共同研究所伊藤勝久所長，田中奈緒美研究員

対応者：島根県文化国際課企画員 三宅香織様

#### ②島根県立大学訪問

訪問日時：2018年8月1日（水）13:00～15:30

（うち，13:00～14:00 協議，14:00～15:30 寧夏出身留学生との交流）

訪問者：共同研究所伊藤勝久所長，田中奈緒美研究員

対応者：島根県立大学教務部長・教授 犬塚優司 様

- 同 国際交流センター長・教授 ケイン・エレナ様
- 同 北東アジア地域研究センター長・教授 李曉東様
- 同 国際交流課課長 岩本哲様
- 同 企画調整室室長 福間猛様

③松江市国際観光課訪問

- 訪問日時：2018年8月8日（水）13:00～14:30
- 訪問者：共同研究所伊藤勝久所長，田中奈緒美研究員
- 対応者：松江市観光振興部次長兼国際観光課課長 宮廻智美様
- 同 国際交流課国際交流係係長 広瀬正之 様

④（公財）しまね国際センター訪問

- 訪問日時：2018年8月23日（木）11:00～12:00
- 訪問者：共同研究所関耕平副所長，田中奈緒美研究員
- 対応者：（公財）しまね国際センター事務局長 福原保 様
- 同 総務交流課長 小寺真由美 様
- 同 多文化共生推進課長 仙田武司 様

⑤松江市国際観光課訪問

- 訪問日時：2019年2月5日（火）15:00～16:00
- 訪問者：共同研究所伊藤勝久所長，田中奈緒美研究員
- 対応者：松江市観光振興部次長兼国際観光課長 宮廻智美 様
- 同 国際観光課国際交流係係長 広瀬正之 様

⑥島根県文化国際課訪問

- 訪問日時：2019年2月6日（水）10:00～10:45
- 訪問者：共同研究所伊藤勝久所長，田中奈緒美研究員
- 対応者：文化国際課国際交流グループ企画員 三宅香織 様

⑦（特非）日本寧夏友好交流協会訪問

- 訪問日時：2019年2月14日（木）18:00～19:00
- 訪問者：共同研究所田中奈緒美研究員
- 対応者：（特非）日本寧夏友好交流協会事務局長 新出雄彦 様

### III - 2 - 4 CLAIR 北京事務所による JET 経験者との意見交換会への参加

2019年3月6日（木），日本自治体国際化協会（CLAIR）北京事務所の北村朋生所長と吉岡正博所長補佐が寧夏を訪れ，寧夏のJETプログラム経験者を集めた意見交換会が行われた。今回の訪問は，2017年12月に田中研究員が同事務所を訪問して本研究所の事業について紹介した際，地方大学間の密接な交流に北村所長らが興味を持たれたことがきっかけとなり実現したため，田中研究員もオブザーバーとして意見交換会に参加した。

意見交換会には，北村所長，吉岡所長補佐，田中研究員の他，寧夏自治区外事弁アジア

処職員 2 名と、交流員・CLT 経験者 8 名が参加した。8 名の参加者の現在の職業は、外事弁職員、事業家、研究者、旅行社経営等であり、様々な分野で JET 経験者が活躍していることが伺われた。

また、翌 7 日（木）には、北村所長と吉岡所長補佐が研究所を訪問し、蔵志勇中国側副所長と面会した。面会には研究所所員の他、寧夏大学対外交流合作処の馬小玲副処長、寧夏自治区外事弁の張濤アジア処副処長及び曾明明翻訳室科長も参加した。

#### ○意見交換会概要

日時：2019 年 3 月 7 日（木）18:00～20:00

場所：富力万達嘉華酒店 1 階和日レストラン

次第：1. 北村所長 あいさつ

2. 意見交換

①国際交流員間の理想的な交流・協力関係について

②日中青少年交流の進め方について

3. 記念撮影

#### ○写真



### Ⅲ - 3 留学生招致に係る活動

#### Ⅲ - 3 - 1 留学説明会

##### Ⅲ - 3 - 1 - 1 寧夏大学農学院における島根大学留学説明会の開催

2018年10月19日（金）、寧夏大学農学院にて島根大学留学説明会を行った。説明会では、生物資源科学部動物科学専門の教授である本研究所の一戸俊義副所長から、今年度新設された自然科学研究科の専門分野や、英語による留学生教育プログラム、入試方法等について説明が行われた。一戸副所長は、多くの写真を用いて研究室の様子を紹介しながら、自身の海外経験について述べ、「留学ではずいぶん苦しくみじめな思いもしたが、それが現在の自分を作っていると思う。農学院のみなさんにも、海外留学に挑戦することで新しいステップを踏み出してほしい」と述べた。農学院からは、農学系、園林系、動物科学系各専門の4年生46名が参加し、一戸副所長の話に熱心に耳を傾けた。

説明会終了後、一戸副所長は以前から交流のある曹兵農学院長と面会し、双方の学部・学院の状況について情報共有を行った。曹学院長からは、今後島根大学への留学生の増加に対する期待が述べられ、さらに、島根大学に所属する大学院生の寧夏大学農学院への短期留学に対する補助の提案があった。

#### ○写真



### Ⅲ - 3 - 1 - 2 「平成 30 年度日本の大学による合同留学説明会」への参加

2018年11月3日(土)、北京の在中国日本国大使館で行われた平成30年度日本の大学による合同留学説明会に、本学から李婉国際交流センター特任助教と、卒業生の張懋楠さんが参加した。この合同留学説明会は、日本学術振興会北京研究連絡センターの主催で行われたもので、本学を含めた15の日本の大学と、3つの研究機関が出展し、日本留学に興味のある北京市民ら145名が会場を訪れた。

本学は、多目的ホール内のブースにおける個別説明と、ブリーフィングルームにおける大学プレゼンテーションを行った。ブースでの個別説明では、13名の参加者と懇談し、島根大学で学べる専門や入試の方法について説明したほか、中国の大学や外国語学校の教員の方々から今後の事業協力に関する相談を受けるなど、留学説明に留まらない交流の機会となった。他にも、大使館の留学アドバイザーによる日本留学の概要の紹介や、出展大学の卒業生等による個別相談等、盛沢山の内容で行われ、出展者、参加者双方にとって有意義な情報交換の場となった。

#### ○配布資料





## 日本院校 留学説明会

**時間:** 2018年11月3日(六) 13:30~17:00  
 (13:00入場、16:30停止入場)  
**地点:** 日本驻华大使馆多功能厅·多功能教室  
 (北京市朝阳区高马桥东街1号)

**爱人者，人恒爱之；敬人者，人恒敬之。**

「将心比心，推己及人」通常包括：

- 不插队。  
(请排成一队，而不是排成一堆！)
- 不喧哗。  
(千言万语，择日再叙衷肠！)
- 不占座。  
(多功能教室可容纳人数有限。先到坐前边，后到坐后边，无座站两侧。没位置不要气，没听清不要急。日本大使馆和各日本大学驻华代表处均设有专职中方咨询员，电话交谈、预约上门，尊享一对一VIP服务，舒适又舒心！  
联系方式请咨询：<http://www.jpss.org.cn/jpsbj/site/yqjl/rbjgch.htm>)
- 不将咨询员占为己有。  
(咨询员是大家的咨询员！请顾及身后长龙，重点提问，简明扼要。重复上一条：日本大使馆和各日本大学驻华代表处均设有专职中方咨询员，电话交谈、预约上门，尊享一对一VIP服务，舒适又舒心！  
联系方式请咨询：<http://www.jpss.org.cn/jpsbj/site/yqjl/rbjgch.htm>)
- 保持场馆整洁。  
(不席地而坐、不吃零食、带走自己的垃圾、保持洗手间干净整洁！)
- 未经允许，不在会场以外的区域随意走动，不触碰使馆内摆放的物品。(这一条就不多解释了...)

#### ■ 日程

	多功能厅		多功能教室
	展台区	学长咨询区	
13:00	入场		
13:30	留学説明会开始		
14:00			大使馆留学咨询员讲解 ・第一场 14:00~ ・第二场 14:30~ ※两场内容相同。 ※座椅60个，无座请站立旁听。
15:00	13:30~17:00 出展大学·机构 咨询员讲解·答疑		15:00~16:15 出展大学简要介绍 ※详情请参照下一页。 ※各校座椅30个，无座请站立旁听。
16:00		15:00~17:00 出展大学在校生、毕 业生咨询会	
17:00	留学説明会结束		



**调查问卷**

非常感谢您参加此次日本院校留学説明会！  
 调查问卷不记名，您的意见·建议对于我们非常重要！  
 您的声音将决定我们未来的努力方向！

○写真



Ⅲ - 3 - 1 - 3 「平成 30 年度日本の大学による合同留学説明会 in 寧夏」の開催

2019年3月20日(水)、本研究所4階報告庁にて、日本学術振興会(JSPS)北京研究連絡センターの主催、寧夏大学、島根大学、在中国日本国大使館の共催により、日本の大学による合同留学説明会を実施した。この留学説明会は、中国西北地域の学生に対し日本留学の概要を紹介するために企画されたもので、8大学(うち5大学は資料参加)と4機関が参加した。寧夏でこのような規模の留学説明会が行われるのは、2017年3月以来、2回目となる。寧夏大学のみならず、寧夏医科大学及び北方民族大学からも学生が訪れ、約90名が紹介に耳を傾けた。

説明会では、JSPS北京研究連絡センターの廣田薫所長と寧夏大学对外合作交流処の馬小玲副処長のあいさつの後、大使館の李賛東留学アドバイザーから、日本の留学生受入の状況や日本政府が行う留学支援制度についての説明が行われ、続いて3大学・3機関による個別紹介が行われた。その後、各大学・機関のブースに場を移し、個別相談の時間が設けられた。本学に対しては、留学時期や手続きの方法、自分の研究分野に合った教員がいるかどうか等について多くの質問があり、田中研究員が一つ一つ対応した。また、大学の個別紹介では、学生研修で寧夏を訪れていた法文学部3年生奈良嘉晃さんが島根大学での学生生活について中国語で紹介し、参加学生の興味を引き出していた。

説明会に参加した3機関(JSPS,JST,RIKEN)は、3月19日(火)午後寧夏医科大学、20日(水)午前寧夏大学、21日(木)午前北方民族大学をそれぞれ表敬訪問し、各機関の事業概要について紹介しました。これらの訪問に関するコーディネートについても、本研究所が担当した。

○ポスター

— 日本学术振兴会主办 —

# 日本院校 留学说明会

1、大使馆留学咨询员讲解  
2、出展大学、机构简要介绍  
3、个别咨询

in宁夏

时间 2019年3月20日(周三) 15:00-17:00  
地点 宁夏大学文贺楼4楼报告厅  
(贺兰山西路489号 宁夏大学贺兰山校区主楼后面西北角)

参加单位: 日本驻华大使馆、名古屋大学、岛根大学、  
创价大学、日本科学技术振兴机构、  
日本理化学研究所、日本学术振兴会

欢迎各专业同学踊跃参加  
(有中文翻译)

主办单位: 日本学术振兴会北京代表处  
协办单位: 宁夏大学、岛根大学、日本驻华大使馆

○写真





### Ⅲ - 3 - 2 留学支援

日本留学希望者に対して、相談対応（留学方法に関する説明、資料の配付等）や派遣支援（指導教官とのマッチング、書類作成指導等）を行った。

### Ⅲ - 4 資料・情報の提供

#### Ⅲ - 4 - 1 翻訳，資料収集と提供

- ・日本側研究者からの必要・要望に応じて翻訳を行った。
- ・翻訳物一覧を研究所HPに掲載した。

【翻訳成果一覧ページ】

[http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/info/translation/translation\\_index.html](http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/info/translation/translation_index.html)

#### Ⅲ - 4 - 2 研究所ニューズレターの発行

- ・学内向け広報としてニューズレターの発行・配付を行った。（2018年12月）
- 内容は「V資料その他 V-3 研究所ニューズレター」を参照

### Ⅲ - 5 その他の活動等

#### Ⅲ - 5 - 1 寧夏大学外国語学院に対する支援

- ・講義の担当（週2回程度，今年度担当授業：発音，会話）
- ・日本語コーナー等イベントへの参加
- ・インターンの受入（1名，2018年9～11月）

#### Ⅲ - 5 - 2 研究所来訪実績

2018年度

月 日	訪 問 者
9月5日	島根大学教育学部嘱託講師 岡崎秀紀さん 島根県立大学修士課程学生 宋佳さん

9月13日~16日	島根大学 服部泰直学長 島根大学国際交流センター 李婉特任助教
10月15日~20日	一戸俊義副所長
3月18日~21日	島根大学学生研修団 学生12名 関耕平副所長 立命館大学講師 倪卉さん
3月19日~21日	日本学術振興会北京研究連絡センター 廣田薫センター長 同 藤田明子副センター長 同 江岸職員 国立研究開発法人科学技術振興機構北京代表処 横山聡副所長
3月20日	在北京日本国大使館 李賛東留学アドバイザー 理化学研究所北京代表所 単莉助理 名古屋大学中国交流センター 王俊婷事務補佐員 創価大学北京事務所 上野理恵所長助理 同 付若晗職員

## IV 研究所の組織

### ○2018年度の運営体制

役職	日本側	中国側
顧問	保母武彦 (島根大学名誉教授, 元島根大学副学長)	陳育寧 (前寧夏大学長)
所長	伊藤勝久 (島根大学生物資源科学部教授)	周震 (寧夏大学教授)
副所長	一戸俊義 (島根大学生物資源科学部教授)	蔵志勇 (寧夏大学副教授)
	関耕平 (島根大学法文学部准教授)	
研究員	田中奈緒美 ※現地駐在	王鋒 (寧夏大学教授) 李楊 (寧夏大学助教)

### ○兼任研究員名簿

氏名	所属	研究分野
汪 発武	総合理工学部	防災工学
桑原 智之	生物資源科学部	水環境保全学
米 康充	生物資源科学部	森林測定学, 森林リモートセンシング学
高田 晋史	生物資源科学部	開発経済学, 農村計画学, 農業経営学
水野 斎	総合理工学部	有機薄膜太陽電池, 有機半導体, 太陽光エネルギー

○客員研究員名簿

氏名	所属	研究分野
鄭 蔚	中国・南開大学日本研究院	農業経済学, 金融学
周 建中	日本・東京成徳大学人文学部	生物環境科学, 民族歴史文化, 人口と教育問題
高橋 健太郎	日本・駒沢大学文学部地理学科	人文地理学
胡 霞	中国・中国人民大学经济学院	発展経済学, 農業経済学
富野 暉一郎	日本・福知山公立大学副学長, 龍谷大学名誉教授	市民自治, 調和型運動社会, 地域環境政策
胡 勇	中国・北京農学院人文社会科学部	社会学, 社会福祉学
張 偉	中国・北京工商大学经济学院	ミクロ金融, 発展金融, 中小企業融資, 東アジア金融協力
大西 広	日本・慶應義塾大学経済学部	統計学, 経済システム論, 中国経済数量分析
氏川 恵次	日本・横浜国立大学大学院 国際社会科学研究科	経済政策・環境経済
谷口 憲治	日本・就実大学経営学部	農業経済
劉 海濤	中国・大連東軟信息学院	農村金融

# V 資料その他

## V-1 新聞記事等

■山陰中央新報 2018年11月18日(日)掲載記事

### 展の経緯紹介 品など例に学芸員

「展覧した経緯を紹介」つたのを挙げ、制作が奨励された。1889年には東京美術学校が開設するなど、美術教育が盛んになった。



本校には、毎年、秋祭りが行われ、その中で、学生が活躍する機会がある。今年も、学生が活躍する機会があった。

### 仏語で 事案内

出題大社で、仏語で、事案内。仏語で、事案内。仏語で、事案内。

### 環境配慮の社会形成探る

日中の研究者 成果共有



本学が主催する「環境配慮の社会形成探る」の日中の研究者 成果共有。本学が主催する「環境配慮の社会形成探る」の日中の研究者 成果共有。

### 冬を感じる茶道具 掛け軸など11点

季節の茶道具を紹介。冬を感じる茶道具。掛け軸など11点。

### 河井寛次郎の孫 飯孝さん作陶展

安来市出身の陶芸家、河井寛次郎の孫、飯孝さんの陶展。安来市出身の陶芸家、河井寛次郎の孫、飯孝さんの陶展。

### 松平治雄の書道展

松平治雄の書道展。松平治雄の書道展。

### 河井寛次郎の孫 飯孝さん作陶展

安来市出身の陶芸家、河井寛次郎の孫、飯孝さんの陶展。安来市出身の陶芸家、河井寛次郎の孫、飯孝さんの陶展。

### 松平治雄の書道展

松平治雄の書道展。松平治雄の書道展。

### 河井寛次郎の孫 飯孝さん作陶展

安来市出身の陶芸家、河井寛次郎の孫、飯孝さんの陶展。安来市出身の陶芸家、河井寛次郎の孫、飯孝さんの陶展。

## V-2 国際共同研究所ホームページ・トピックス

### ■新ホームページトップページ

The screenshot shows the homepage of the International Joint Research Institute of Shimane University and Ningxia University. At the top right, there is an "ENGLISH" button. The header includes the institute's name in Japanese and English, and a navigation menu with links for "ホーム", "ご挨拶", "研究所概要", "研究所利用について", and "お問い合わせ". Below the header is a large banner image of a modern building with a curved facade. Underneath the banner are five main content boxes: "研究事業" (Research Activities), "セミナー・イベント" (Seminar/Event), "人材育成" (Human Resource Development), "情報の発信" (Information Dissemination), and "研究成果・刊行物" (Research Results/Publications). Each box contains a brief description and a link to "詳しくはこちら". Below these boxes is a "NEWS" section with a single entry dated 2019-03-29 about a homepage renewal. To the right of the news section are three social media and network links: "西部学術ネットワーク", "寧夏点描" (with a QR code), and "neikakenkyusho" (with an Instagram icon). At the bottom, there is a secondary navigation menu and a copyright notice: "Copyright © International Joint Research Institute of Shimane University and Ningxia University All Rights Reserved."

※詳細については、島根大学・寧夏大学国際共同研究所のホームページをご覧ください。  
<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/>

## ■旧ホームページトピックス一覧

島根大学・寧夏大学国際共同研究所	
旧ホームページの 記事一覧	旧ホームページの記事一覧
	<b>2019</b>
	2019.03.11 クレア北京事務所の北村所長と吉岡所長補佐が研究所を訪問されました
	<b>2018</b>
	2018.12.14 「銀川ピフォー & アフター写真展」が開催されています
	2018.11.29 寧夏大学・許副校長が服部学長を表敬訪問
	2018.11.29 日中植林・植樹国際連携事業交流団の来訪
	2018.11.27 2018年度日中国際学術セミナー(第16回)が島根大学で開催されました
	2018.11.27 さくらサイエンスプランで寧夏大学の学生を受け入れました
	2018.11.14 平成30年度日本の大学による合同留学説明会に参加しました
	2018.11.13 島根・寧夏友好提携25周年記念活動に参加しました
	2018.11.13 寧夏大学農学院で留学説明会を行いました
	2018.09.26 島根大学総合博物館にて寧夏写真展を開催します
	2018.09.15 服部学長が当研究所関連教員と交流しました
	2018.09.15 服部学長が寧夏大学創立60周年記念式典に参加しました
	2018.09.15 服部学長が寧夏医科大学を訪問しました
	2018.09.15 服部学長が寧夏大学の何建国学長を表敬訪問しました
	2018.09.05 島根県立大学留学生と浜田市民研究員が研究所を訪問しました
	2018.08.10 伊藤所長らが島根県立大学を訪問しました
	2018.08.10 西北農林科技大学の訪問団が島根で視察を行いました
	2018.08.10 西北農林科技大学の農業経済分野5名の訪問団が学術交流を行いました
	2018.06.28 2018年日中国際学術セミナー(第16回)開催及び参加者募集のお知らせ
	2018.04.19 中国寧夏回族自治区友好交流25周年記念写真展が開催されます
	2018.04.19 国際共同研究所の年報 第11号を発刊しました

※詳細については、島根大学・寧夏大学国際共同研究所のホームページをご覧ください。

<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/previous/topix.html>

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

# NEWS LETTER

vol.03

## 服部泰直学長が寧夏を訪問しました



9月13～16日、寧夏大学創立60周年記念式典への招待を受け、服部学長が寧夏回族自治区銀川市を訪れました。

記念式典に先立って行われた学長フォーラムでの招待講演では、今後の寧夏大学との協力関係について、当研究所を核とする研究交流、同窓会組織を活用した学生交流の推進、自治体間連携を活用した大学交流の推進を3つの柱として挙げ、約220名の聴衆にアピールしました。



その他、学生交流会の開催や当研究所関連教員との懇談、寧夏医科大学の訪問等、精力的に交流活動を行いました。今回の服部学長の訪問により、寧夏における本学及び当研究所の存在感がより強まったと感じています。

※詳細はHPで <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/topix.html>

## 第16回日中国際学術セミナーを開催しました

11月17～19日、第16回目となる日中国際学術セミナーを島根大学で開催しました。今回は、全体テーマを『エコロジカルな地域社会の形成へ向けた日中国際共同研究の可能性』とし、経済成長後の大きく変容した社会のあり方、環境に配慮した社会のあり方に関して、技術面での対応、社会経済面からの分析等を中心に、日中双方から34の報告がなされました。最終日には、2つのグループに分かれてテーマに合わせた現地視察を行い、環境に配慮した地域社会の取り組みや、農業技術センター等を見学しました。



本セミナーが契機となり、今後の国際共同研究に発展することを期待します。

※詳細はHPで <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/topix/20181117seminar.html>

### 中国西部地域研究のお手伝いをいたします

当研究所では、寧夏大学（寧夏自治区銀川）、西北農林科技大学（陝西省楊凌）、青海大学（青海省西寧）、西南大学（重慶）、中国農業大学（北京）等、主に中国西部地域の大学の研究者とネットワークを結び、学術交流を行っています。このネットワークを利用し、中国研究や現地研修のお手伝いをいたします。

学内研究者の皆様のご利用をお待ちしております。

●業務内容：

- ・現地調査、研修のコーディネート（調査地との連絡、車やホテルの手配等）
- ・中国側研究者の紹介・マッチング
- ・中国で出版・発行された研究資料の入手 ・研究資料の翻訳（日⇄中） 等

●連絡方法：

研究テーマとご希望内容を、下記メールアドレスまでお知らせください。

- 連絡先：neika\_kenkyusho@soc.shimane-u.ac.jp（担当：田中）

### 中国西北地方の冬

寧夏は中国西北部の高原に位置しており、典型的な大陸性気候です。そのため春と秋が短く、10月中旬になると、街路樹の葉が落ち始め、11月には一面グレーの景色になります。気温もぐっと落ちるため、11月からは「暖気」というセントラルヒーティングの提供が始まります。



寧大内の「暖気」提供用炉

「暖気」は、建物内にお湯の流れるパイプを通し、その熱で室内を暖めるという構造で、外がどんなに寒くても室内は暖かいという北方の冬には欠かせないものですが、弊害もあります。それは大気汚染。以前は団地ごとに石炭を燃やしていたためひどい汚染でしたが、2017年頃から政府が力を入れ始め、住宅については、天然ガス等による集中供給に替わってきています。ただし、寧夏大学等規模が大きい組織は、現在でも独自に「暖気」提供を行っているそうです。設備が整っていない農村では、良質な石炭を使用すると補助金が支給される等、環境改善に向けた様々な努力がなされているようです。

※HPのコラムもどうぞ <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/Neika-tenbyou.html>

## V-4 事業計画

### 平成30年度 島根大学・寧夏大学国際共同研究所事業計画

#### 1. 共同研究・研究交流事業

##### (1) 日中共同学術研究の推進

- ① 貧困と環境に関する国際共同研究の実施（寧夏大学・西北農林科技大学）
- ② 中国内陸部の家畜生産システムに関する研究（寧夏大学・西北農林科技大学動物科学院・蘭州大学 CFAST）
- ③ 新たな分野の共同研究開始に向けて
  - 1) 寧夏大学土木学院（廃棄物の材料利用, フライアッシュなど）と法文（環境経済学）, 総理工（物質・マテリアル工学科 北川准教授）
  - 2) 太陽光発電研究室（太陽光発電）と総理工（水野助教を介し CP を寧夏大へ紹介依頼）
  - 3) 総理工・汪 發武教授へ自然災害科学分野と寧夏大教員との共同研究推進の依頼
  - 4) 西北農林科技大 閻振宇教員より耕畜連携に関する共同研究依頼（8名 11月受け入れ予定, 第16回セミナーにも参加）
  - 5) 県立大学はじめ山陰地方の大学・研究所との中国における新たな共同研究の際の窓口としての機能を担う他, 中国における研究シーズの探索, マッチング可能性の発掘（駐在研究員）
- ④ 中国側研究者による国際比較研究（日本中山間地域の調査研究等）の受け入れ・支援
- ⑤ 民間助成をはじめとした外部研究資金への申請と獲得
- ⑥ 留学生確保のための研究（学内, 寧夏大学, 中国の他大学）
- ⑦ さくらサイエンス事業への申請

##### (2) 学術交流事業の実施

- ① 第16回日中国際学術セミナーの実施（テーマ: エコロジカルな地域社会の形成へ向けた日中国際共同研究の可能性, ～循環経済, 再生可能エネルギー, 低炭素社会, 地域資源の高次利用～）
- ② 日中国際学術セミナーの場を利用した共同研究・交流事業の推進
- ③ 第2回東アジア六次産業化フォーラム参加者による島根大表敬訪問および島根県の事例調査
- ④ 西北科技大経済管理学院教員（5名）との日中農業・農村発展研究会開催

##### (3) 研究ネットワークの拡充

- ① 第16回日中国際学術セミナーの場を利用した共同研究・交流事業の推進（西北農林科技大学との交流促進）

- ② 自然科学系・工学系との交流推進（さくらサイエンス事業）
- ③ 客員・兼任研究員の増員による自然科学系研究の幅の拡大
- ④ 「現代中国地域研究」(国内の中国研究学術ネット)へのアプローチと参加

#### (4) 研究成果の発信

- ① 第 16 回セミナーのプロシーディング発行  
国際共同研究の成果に基づく国内学会誌，国際誌への論文の投稿
- ② 研究成果の公表（目標 10 報，研究成果報告 5，口頭発表 10 等）
- ③ 保母武彦共編著『砂漠化する地球－中国西部からの報告－』（仮題，日本語）
- ④ Web による紀要の発行の検討

## 2. 国際的産学官連携事業の実施に向けて

島根県・寧夏回族自治区の間で 3 期 9 年にわたって行われた JICA 草の根技術協力事業（下水道整備および流域計画）の後継事業について，2017 年度から実施すべく，外務省，JICA，文部科学省などとの調整を行い，新たな草の根，国際的産官学共同を模索。さらに松江市と銀川市との有機米に関する人材育成事業の後継事業に関しても実施に向け，各主体との連携・調整を図る。

## 3. 人材育成事業

- (1) 寧夏大学や友好協定大学，周辺大学の留学希望者に対する情報提供と留学説明会の実施
- (2) 寧夏大学外国語学部日本語学科学生の受け入れ促進
- (3) 島根大学留学経験者中国同窓会創設支援
- (4) 若手研究者の育成  
国際学術セミナーおよび現地調査に参加する日中若手研究者の拡大
- (5) 自治体間国際交流・人材育成研修への協力  
銀川市，自治区から人材育成研修受け入れに対する協力

## 4. 教育・交流への協力

- (1) 島根大学・寧夏大学国際共同研究所図書館の運営と充実
- (2) 寧夏大学日本語学科への講義の協力，実習生の受け入れ
- (3) 島根県，松江市，NPO 法人との情報交換・連携
- (4) 自治体間国際交流・人材育成研修への協力および駐在研究員の中国における交流シーズ（共同研究）の開拓
- (5) 島根大学学生への情報提供，中国学生研修企画への協力，中国人民大学との交流事業の実施
- (6) 島根県・寧夏回族自治区 交流 25 周年記念事業への協力
- (7) 研究所設立 15 周年記念事業

## 5. 研究所の運営

- (1) 各種委員会の開催
- (2) 研究所年報の発行（第12号，2018年度版）
- (3) 研究資料の配信
  - ① 情報提供（寧夏情報の提供，ニューズレターの発行，研究所ホームページの充実）
  - ② 在中国日本国大使館のミニブログでの大学紹介
- (4) 文献翻訳・関連論文の提供
- (5) 希平会への出席による情報発信

---

島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報 第12号 2018年度

2019年3月31日発行

発行者 島根大学・寧夏大学国際共同研究所  
(所長 伊藤勝久)

〒750021 中国寧夏銀川市西夏区賀蘭山西路寧夏大学A区  
TEL +86-951-206-1818

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学内  
TEL 0852-32-6547 (伊藤勝久), 32-9735 (国際交流課)

Homepage <http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp/index.html>

---